

01



02

熊野速玉大社例大祭「御船祭」

諸手船が神幸船を先導する

　熊野速玉大社例大祭の御船祭が 10 月 16 日、同神社と熊野川で行われました。早船競漕が開催された後、烏止野神社総代会の管理する諸手船が神幸船を先導しました。

　諸手船は古くから、御船祭で神霊をのせた神幸船を導く大役を務めています。赤い衣装に身を包んだアタガイウチが、神霊を導く動きを表した「ハリハリ踊り」を舞いながら、御船島を３周して、対岸にある御旅所へ神幸船を導きました。

Town topics 10/16

01. 神幸船を先導する諸手船。
02. 早船競漕で優勝した「堤防」。



会場に並んだ多彩な作品を鑑賞する来場者たち

書や生け花、絵画など力作が一堂に

紀宝町文化展に 758 点が集う

　第 17 回紀宝町文化展が 10 月 31 日から 11 月１日の２日間にかけて、まなびの郷で開催されました。

　これは造形文化の振興などにより文化活動の向上を図ることを目的として行われており、書道や生け花、写真、陶芸などのほか、保育所や幼稚園の園児、小中学生が手がけた図画、習字など、個性豊かな作品 758 点が会場を彩りました。

　２日間で 1,188 人の方が来場し、展示された作品をゆっくり見て歩き、時折立ち止まって鑑賞し、楽しんでいました。

Town topics 10/31～11/1

いつまでもお元気で、笑顔あふれる毎日を

前田さんの 100 歳の長寿を祝う

　向井町長は 11 月９日、今年めでたく 100 歳を迎えた鵜殿の前田智恵子さんを訪問し、記念品と祝い金を贈呈しました。

　前田さんは大正 15 年 11 月７日に熊野市で６人兄弟の３番目、長女として生まれ育ち、小学校を卒業後、戦時中のため挺身隊として鳥羽に動員された後、大阪市、尾鷲市、新宮市と移られ、50 年ほど前に紀宝町に転入されました。

　現在は、新宮ショートステイセンターに入所されており、毎日の食事や施設のお友だちとのおしゃべりを楽しんでいるそうです。

Town topics 11/9



前田さん（左）に記念品を贈呈



01



02

01・02. サツマイモを収穫する園児。

食育の一環として

町内の畑でサツマイモの収穫体験

　うどの幼稚園と鵜殿保育所の園児は 10 月 28 日、町内の畑においてサツマイモの収穫体験を行いました。

　これは園児たちの食育の一環として、収穫の喜びを味わうことや農作物の成長の変化に気づくことなどを目的に行われているものです。

　園児たちは茎の根元をしっかり持って引き抜き、土の中から現れる大小さまざまなサツマイモに歓声を上げたり、土の中で見つけた虫たちに興味津々の様子を見せたりしながら、収穫体験を楽しんでいました。

　収穫したサツマイモは家庭へ持ち帰られたほか、給食の食材としても活用され、園児たちは自分たちで収穫した味を楽しんでいました。

Town topics 10/28

災害時の迅速な避難を支える防災拠点

鵜殿３組の津波避難タワーが完成

　鵜殿地区では３基目となる鵜殿３組津波避難タワーが完成し、10 月 23 日に竣工式を開催しました。

　これは、南海トラフ地震による津波被害から「犠牲者ゼロ」を目指す取り組みとして整備されたもので、町内では５基目となる津波避難タワーです。

　この施設は、鵜殿３組の町道沿いに建設され、鉄骨造で、海抜 14 メートルの高さに屋内避難スペースを設けており、最大約 100 人が避難可能です。また、収納式畳ベッドや更衣室、多目的簡易トイレ、蓄電式コンセントなどを備えています。

　災害時には地域のみなさんが安心して避難できる施設として活用が期待されます。

Town topics 10/23



01



02

01. 鵜殿３組津波避難タワー。
02. 鍵の引き渡し式。



消防車両に乗りパレードに出発

秋の全国火災予防運動で

防火パレードを実施

　町は 11 月９日、秋の全国火災予防運動の一環として、防火パレードを実施し、消防団員ら 12 人が参加しました。

　これは火災が発生しやすい季節を迎えることから、町民の防火意識を高揚し、火災の発生を防止することを目的として行われました。

　川上辰哉団長が「パレードを通して今以上に防火意識を高めてもらいたい」とあいさつした後、全員が消防車両に分乗してパレードに出発し、町内を走りながら火災予防を呼びかけました。

Town topics 11/9